

# 水稲作における冬期湛水による雑草の抑制効果

農業研究部・水田農業グループ

## 1. 研究の背景

水稲作における冬期湛水の有効性について検証し、有機農業、環境保全型農業の推進に資する。

## 2. 研究成果の内容・普及のポイント

冬期湛水を実施することにより、水稲栽培時の雑草を抑制できる。

### [冬期湛水の方法]

- ・畦塗り後、前年12月下旬から代かき(6月下旬)までの間、常時湛水する。

### [雑草の発生状況]

- ・冬期湛水により、冬期間から雑草が伸長する。
- ・冬期湛水時(水稲移植約50日前)はイネ科雑草が優占する。
- ・水稲移植後は水が濁った状態が続き、目立った雑草の発生はない。

### [水稲の生育・収量]

- ・初期生育はやや抑制されるが、その後回復し、収量への影響は認められない。

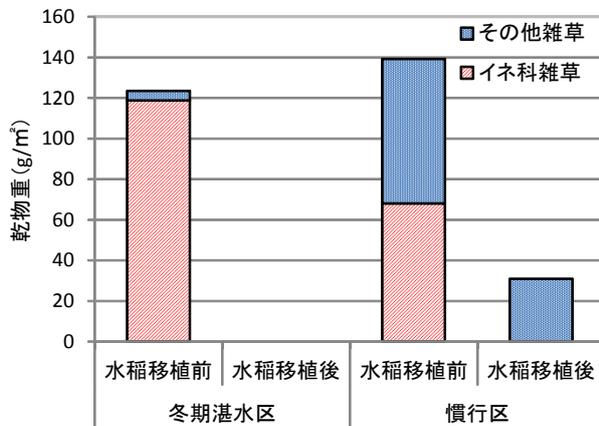


図1 冬期湛水による雑草発生量の違い

注)調査月日:水稲移植前5月5日、水稲移植後7月31日

表1 水稲生育・収量調査結果

試験区	最高分けつ期		成熟期	
	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	稈長 cm	穂数 本/m <sup>2</sup>
冬期湛水区	62	471	87	352
慣行区	67	457	81	334

収量調査			
籾数 ×10 <sup>3</sup> /m <sup>2</sup>	登熟歩合 %	千粒重 g	精玄米重 kg/a
32.2	74.1	22.4	60.0
27.4	78.2	22.8	51.9

注)調査日:7月31日、成熟期:10月2日

注)本内容は、冬期湛水1作目、種子消毒、本田病虫害防除2回実施した結果に基づく成果である。

## 3. 期待される効果

- ・水稲作における有機農業、環境保全型農業の拡大に寄与できる。

## 4. 担当機関連絡先

農業研究部 水田農業グループ 作物栽培チーム  
 TEL: 0978-37-1160  
 住所: 宇佐市大字北宇佐 65